

株式会社タムラ製作所

2009年3月期 第2四半期決算概要

2008年 11月12日



- 1. 2009年3月期第2四半期決算概要**
- 2. 2009年3月期 通期業績予想**

1. 2009年3月期第2四半期決算概要

売上は増収(光波効果) 利益は大幅な減益・最終赤字

08上 期中平均実績為替レート: \$1= 106円 16銭
 08上 期中平均社内為替レート: \$1= 105円 68銭
 08上 期末日実績為替レート : \$1= 103円 57銭

【百万円】

	07上	08上	増減
売上高	46,826	47,134	308
営業利益	2,372	905	△ 1,467
営業外損益	△ 55	△ 10	45
経常利益	2,317	895	△ 1,421
特別損益	△ 493	△ 2,046	△ 1,554
税引前利益	1,824	△ 1,151	△ 2,975
純利益	1,212	△ 1,525	△ 2,737

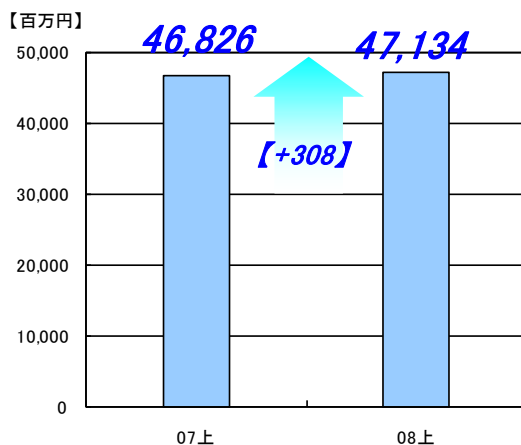
◆営業利益

原材料の高騰・固定費の上昇等により
原価が上昇、子会社増加により販管費も
増加し、収益性が悪化

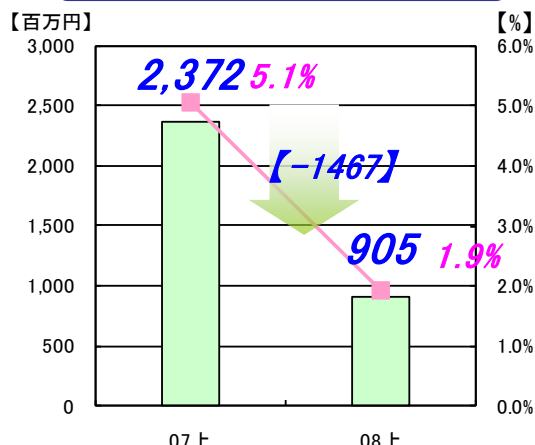
◆特別損失

- ・会計基準変更に伴う
棚卸資産評価損8.9億円
- ・台湾事業の再構築として
子会社株式売却損 8.5億円

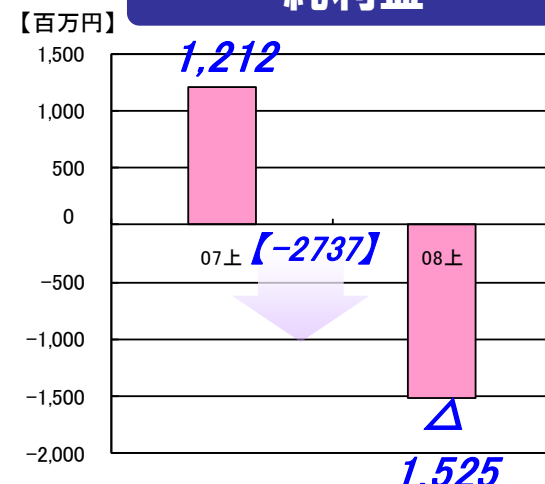
売上高



営業利益・利益率

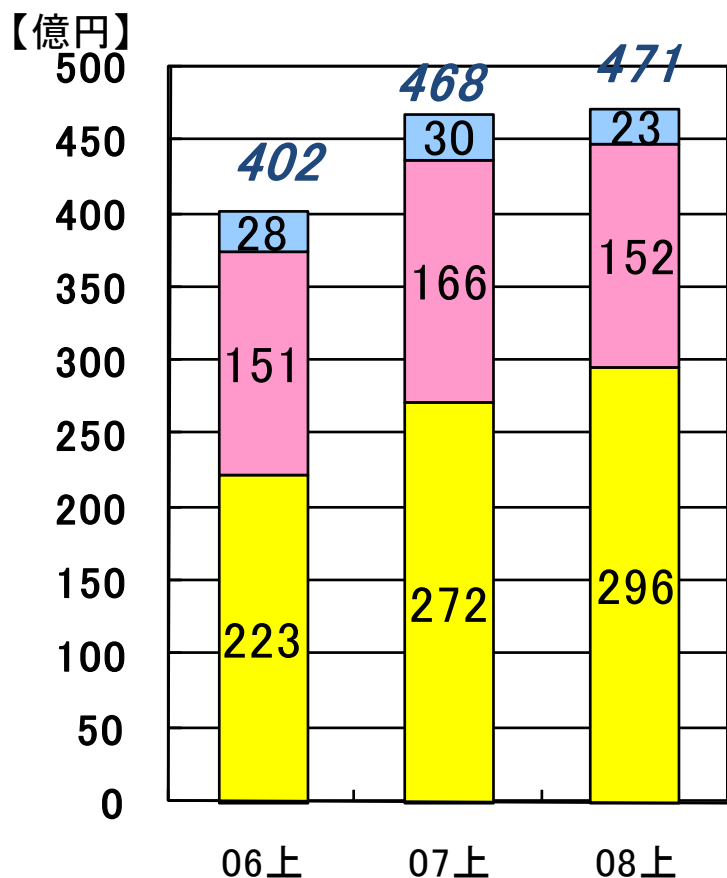


純利益



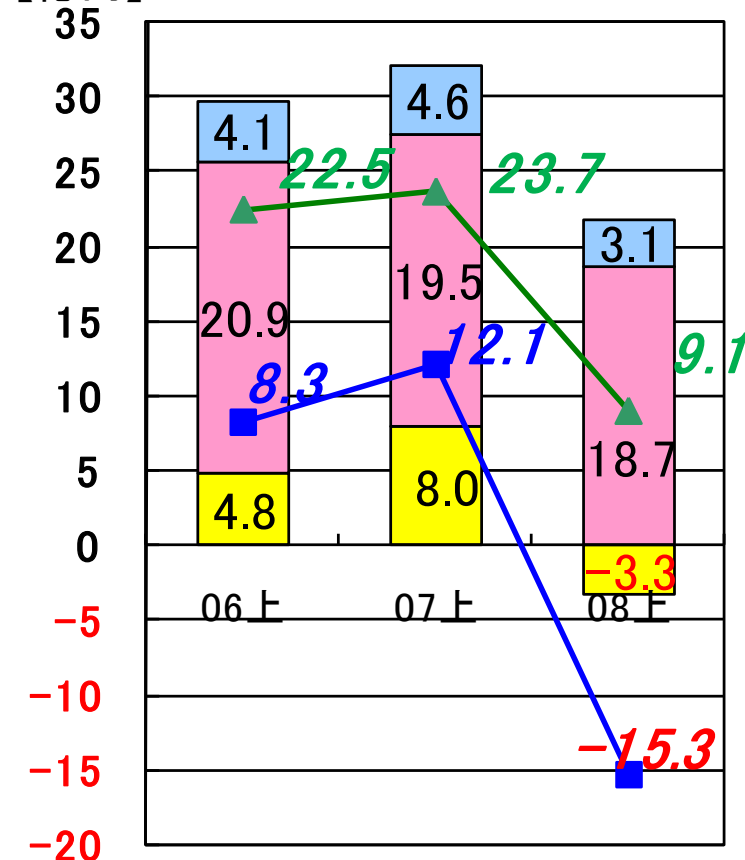
株式会社光波の連結子会社化があり、増収なるも、
 原材料価格の急騰・固定費上昇など原価の上昇が止まらず、
 厳しい市場環境のもと、電子部品関連事業を中心に収益は大幅悪化

売上高



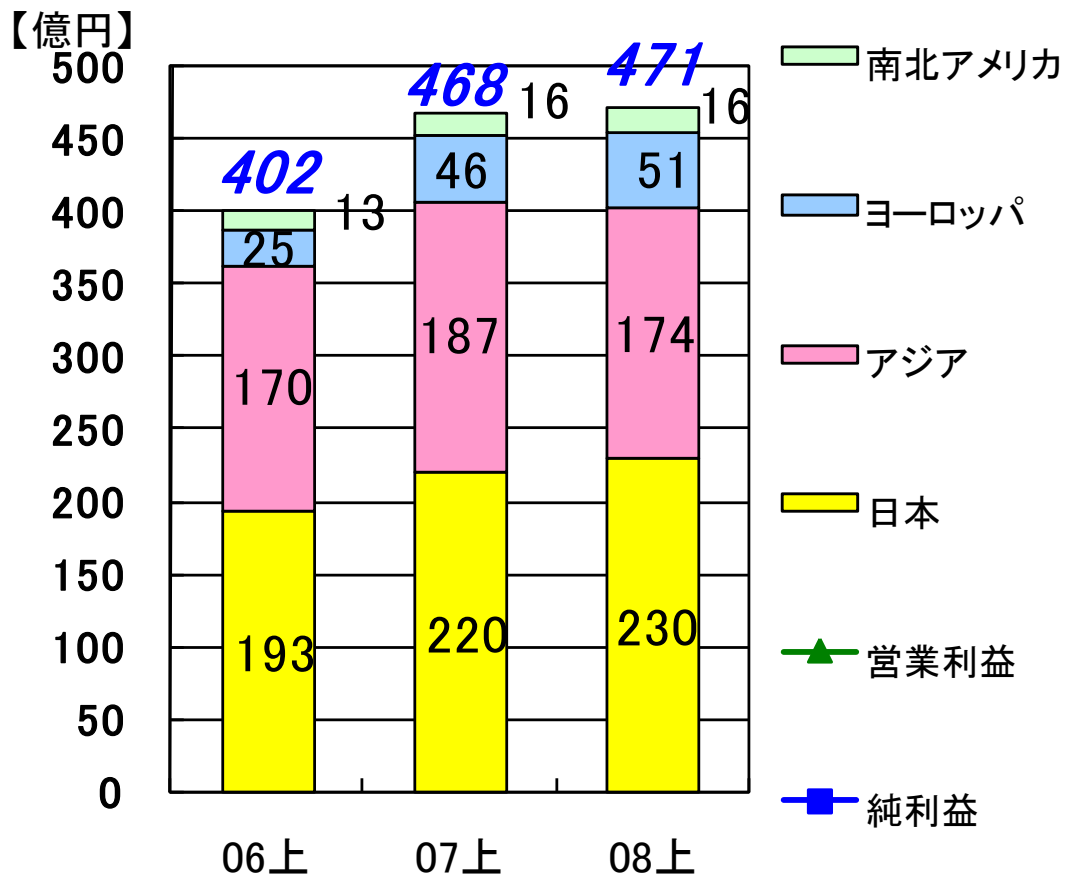
営業利益

【億円】

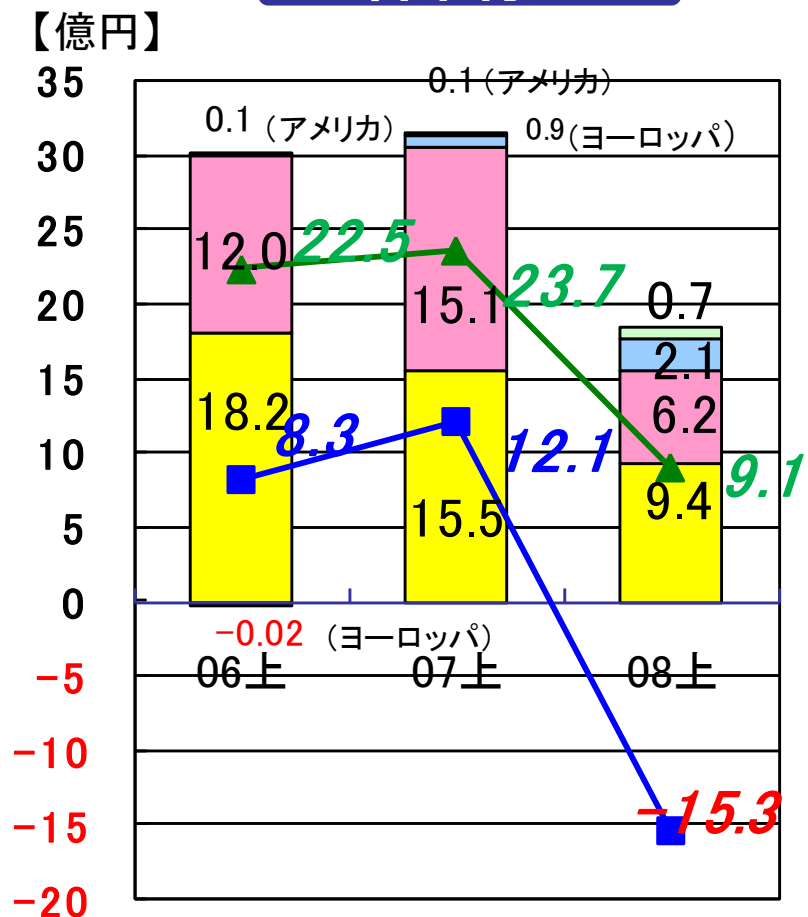


国内・アジアは原材料高騰・市場の減速・人民元高の影響で苦戦
 欧米はヨーロッパを中心に拡販が進み売上利益とも堅調に推移

売上高

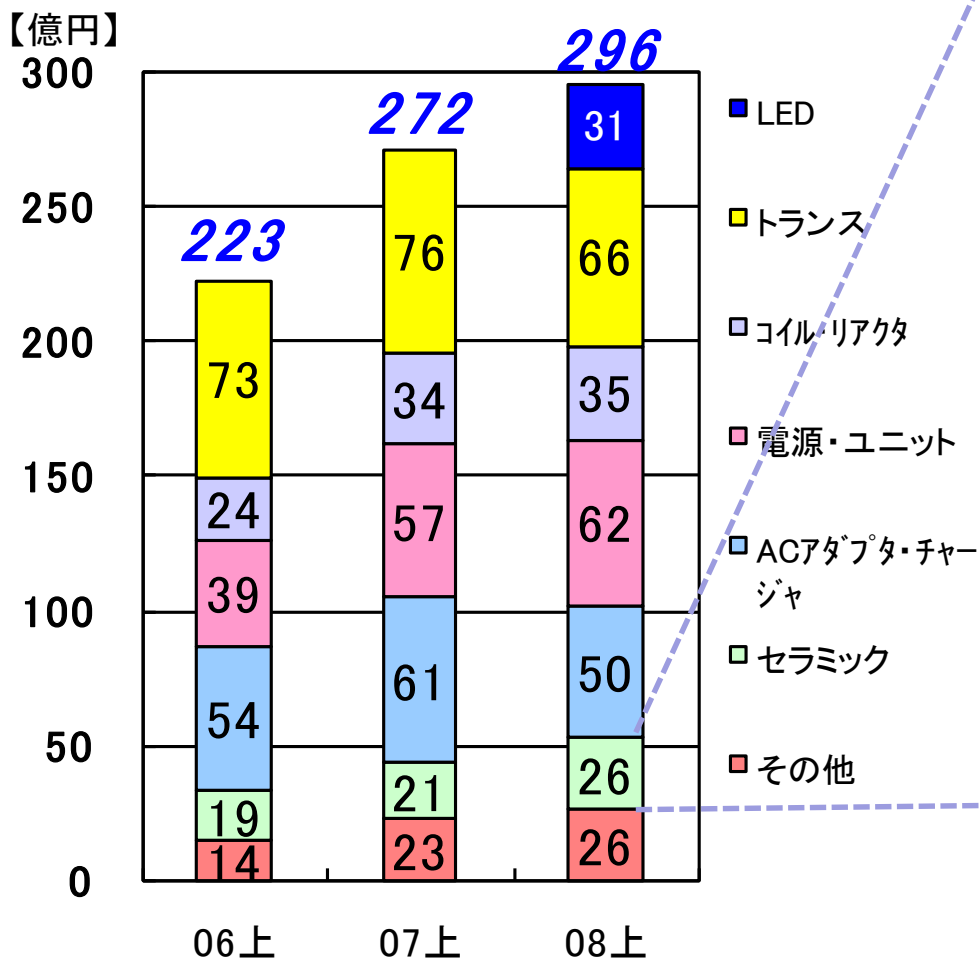


営業利益

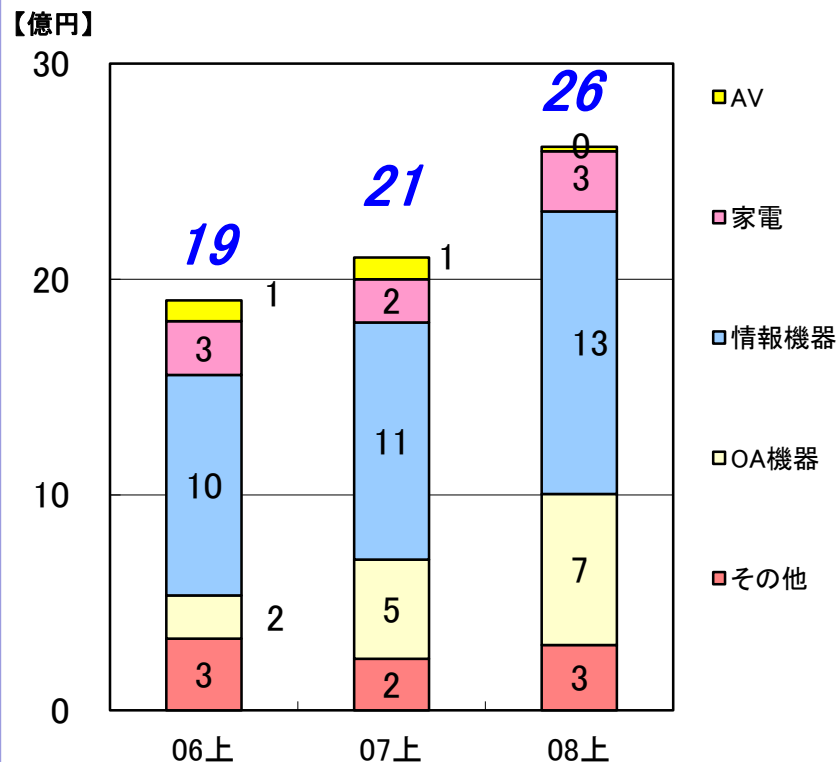


LED関連製品の追加で増収し、一部堅調な製品群もあるが、トランス関連を中心に原価が上昇する中で商品の低価格化が進むなど厳しい市場環境もあり、全体的に伸び悩む

製品別 売上高

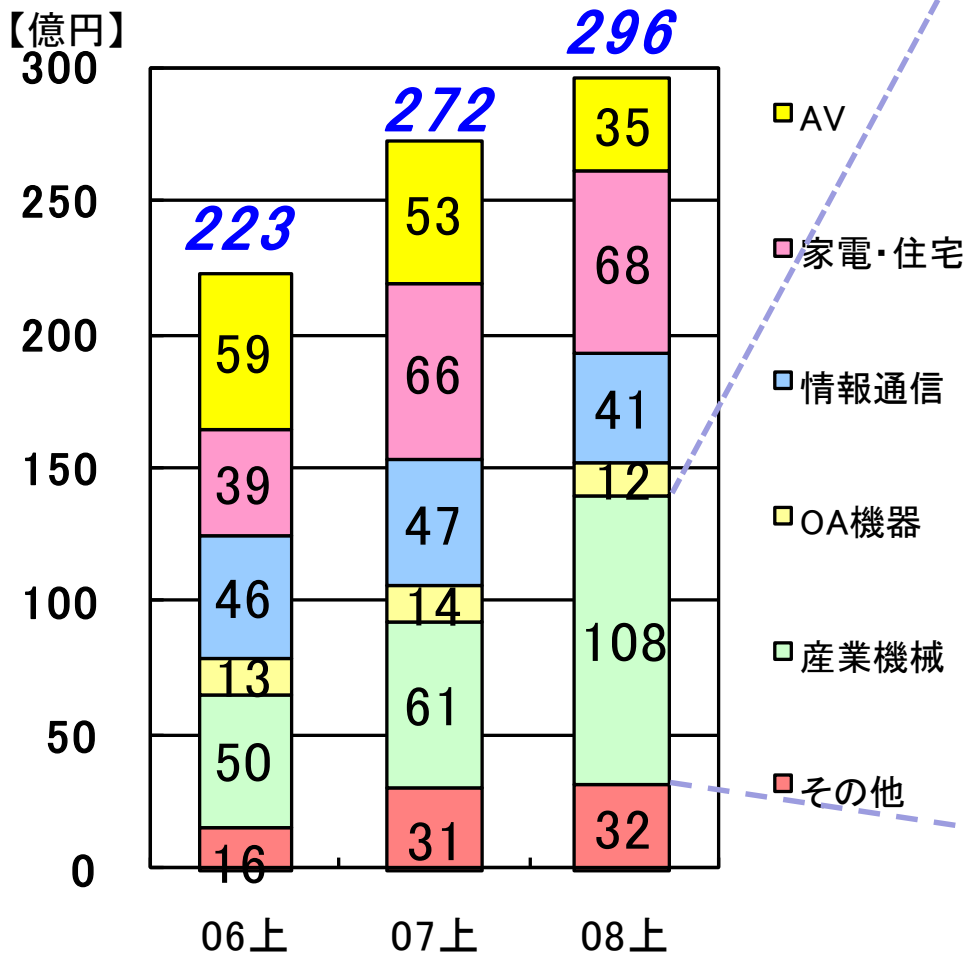


【内訳: セラミック事業 市場別売上高推移】

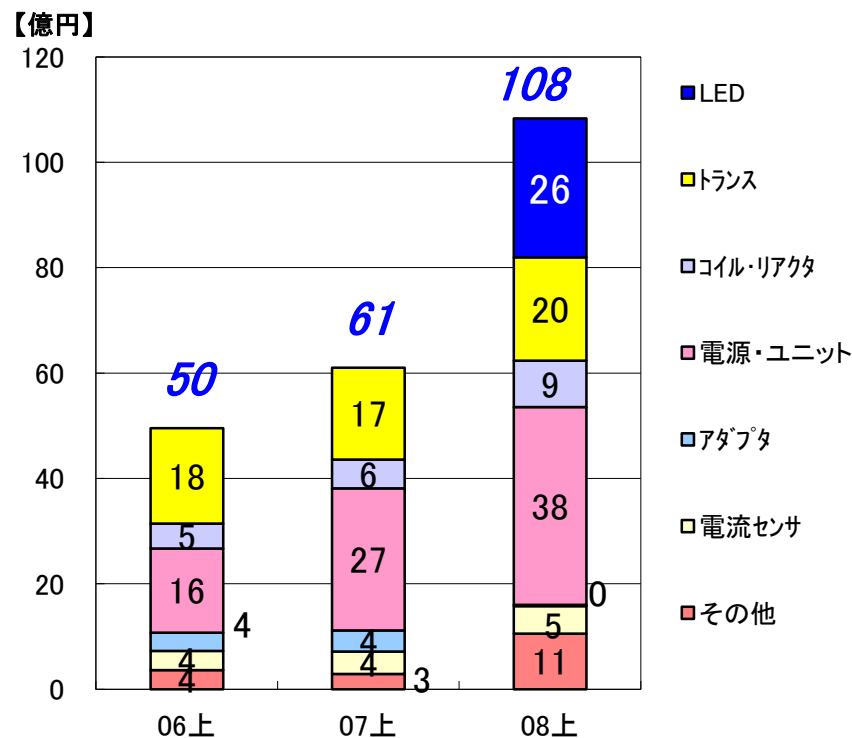


AV機器関連はより低価格化が進み、好調であった電動工具向け製品も市場環境の影響もあり伸び悩む。産業機器関連は設備投資減速もあり、やや鈍化傾向にはあるが、エネルギー関連などは引き続き堅調

市場別 売上高

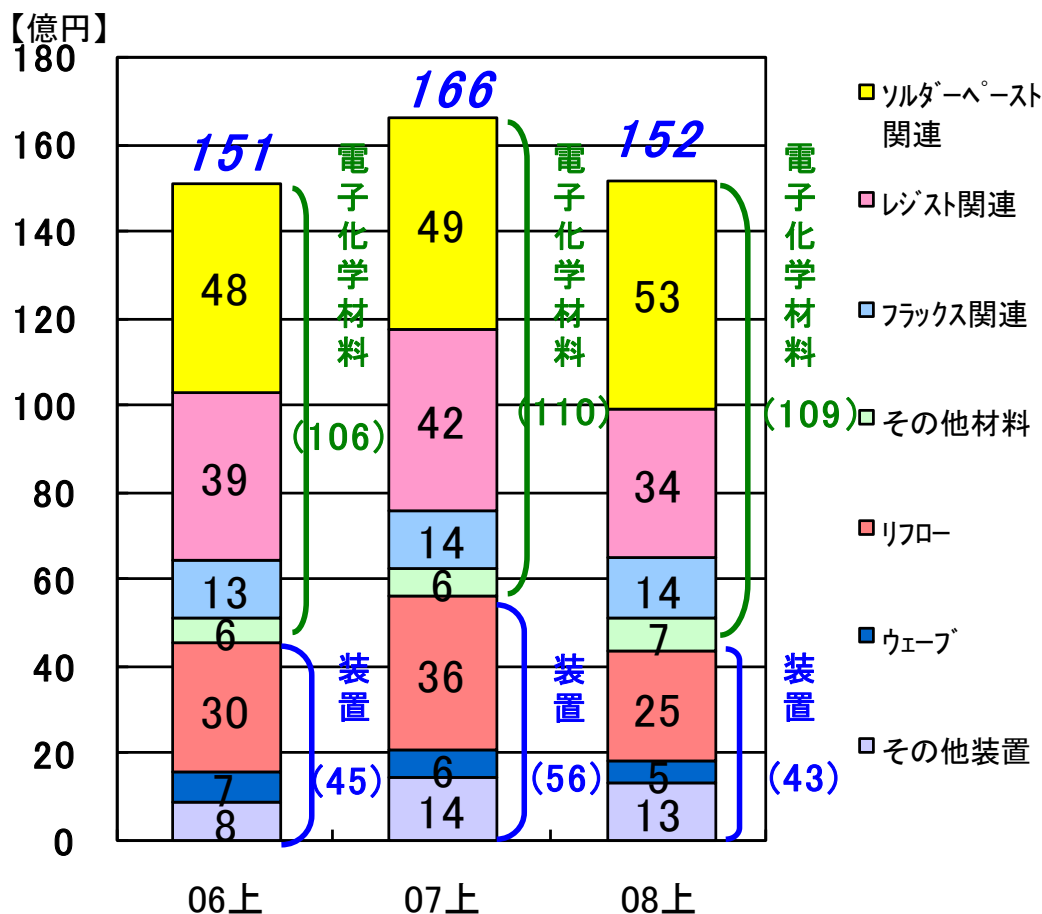


【内訳: 産業機器事業 製品別売上高推移】



設備投資の減速、生産の調整、競争の激化と厳しい市場環境もあり、
はんだ付装置関連、レジスト関連製品を中心に減収
但し、ソルダーペースト関連製品は引き続き堅調

製品別 売上高



◆大型リフロー装置
台湾EMSメーカー中心に拡販



タムラ古河マシナリーとの共同開発リフロー
「TNC51-6212EM」

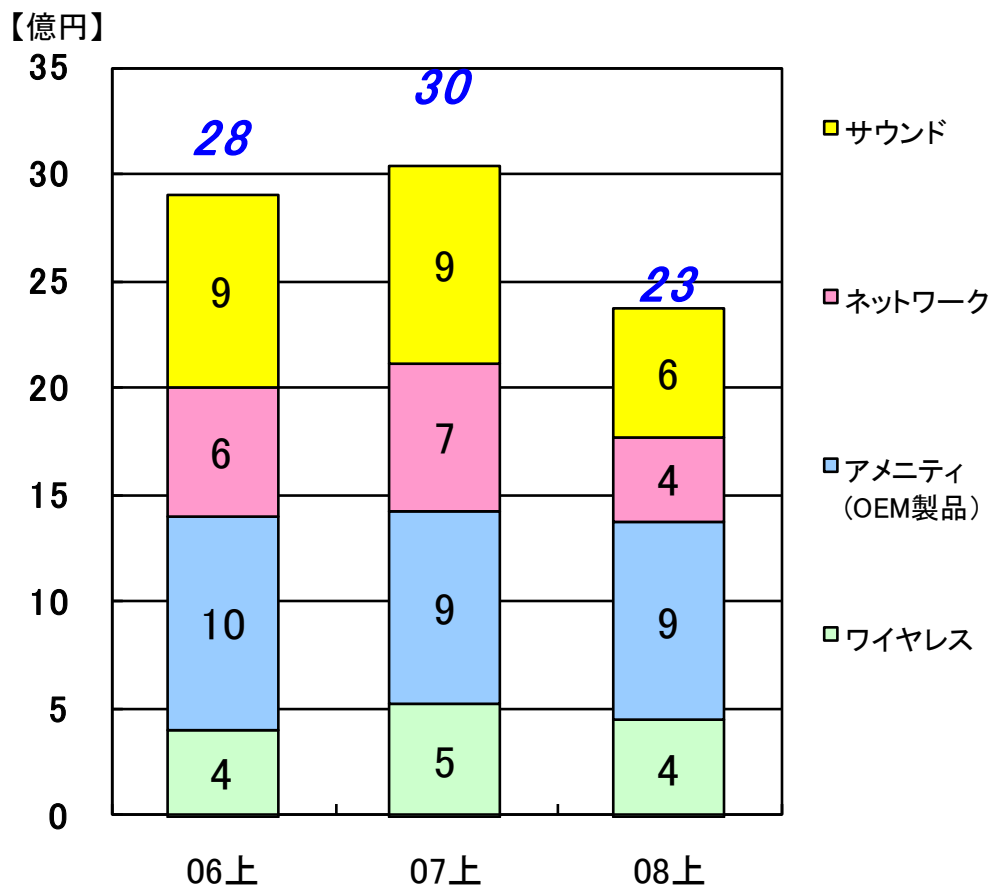
◆ソルダーペースト堅調に推移



環境に配慮した
ハロゲンフリーソルダーペースト
「LFSOLDER TLF -204-NH」

放送機器関連は海外展開は進展するも国内市場が低迷し、大幅に減収

市場別 売上高



◆大型デジタル音声卓(ミキサー)をシンガポールに初納入
-世界的な販路拡大を加速-

アセアン地区への販路をさらに拡大し、さらなるグローバル展開の足掛かりにまいります



「デジタル音声調整卓:AMQ1100」

ハイライト(要約貸借対照表)

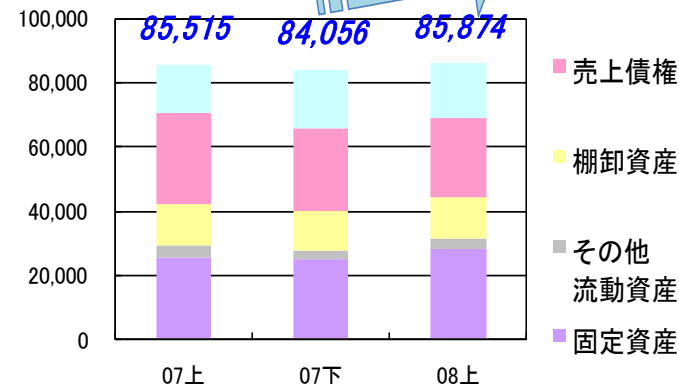
総資産は、光波連結+100億円、台湾事業再構築に伴う
子会社売却-57億円、自己株取得-25億円などで
対前期比 18億円増加

【百万円】

	07上	07下	08上	対前期
流動資産	60,043	59,339	57,927	△ 1,412
(現預金)	14,924	18,379	16,852	△ 1,526
(売上債権)	28,611	26,016	24,863	△ 1,153
(棚卸資産)	12,893	12,102	12,817	715
(その他流動資産)	3,615	2,842	3,395	553
固定資産	25,471	24,716	27,946	3,229
(有形固定資産)	17,910	17,223	20,124	2,901
(無形固定資産)	1,555	1,444	1,864	419
(投資、その他)	6,005	6,048	5,957	△ 91
資産合計	85,515	84,056	85,874	1,817
流動負債	27,833	27,442	29,328	1,886
(仕入債務)	16,413	15,790	14,166	△ 1,623
固定負債	15,291	15,075	15,823	747
(有利子負債※)	17,375	16,772	20,407	3,635
負債計	43,124	42,517	45,152	2,634
純資産合計	42,390	41,539	40,722	△ 816
負債・純資産合計	85,515	84,056	85,874	1,817

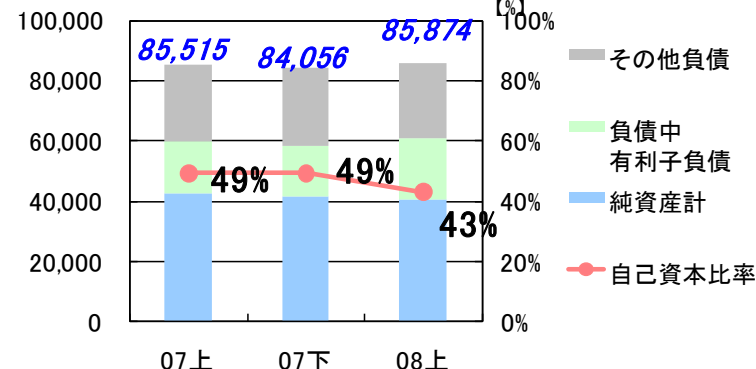
資産

【百万円】



負債・純資産

【百万円】



※当期より有利子負債には
リース債務348百万円を含む。

光波TOB資金は銀行借入44億円で調達→08下5年ローンへ借り換え
自己株取得(5百万株、6.66%) は自己資金より支出

【百万円】

	07上	08上	増減	コメント
営業活動による キャッシュフロー	1,822	789	△ 1,033	税引き前損失11億
投資活動による キャッシュフロー	△ 32	△ 3,446	△ 3,414	光波TOB費用45億 - 光波期首CASH24億=△21億
フリーキャッシュフロー	1,790	△ 2,657	△ 4,447	
財務活動による キャッシュフロー	△ 1,350	1,601	2,951	光波TOB資金借入44億 自己株取得△22億
キャッシュの増減	598	△ 1,309	△ 1,907	
キャッシュの残高	14,743	16,474	1,731	光波期末CASH 21億

2. 2009年3月期 通期業績予想

引き続き厳しい市場環境が続くと予想されるが、
下期での巻き返しを図る

損益予想

08下期 計画為替レート \$1= 100 円

【百万円】

	08/3 実績	09/3 前回予想	09/3 修正予想	対前年 増減
売上高	90,979	104,000	96,000	5,021
営業利益	4,541	3,500	2,600	△ 1,941
経常利益	3,910	3,500	2,100	△ 1,810
当期純利益	1,847	750	△ 700	△ 2,547

ROA・ROE

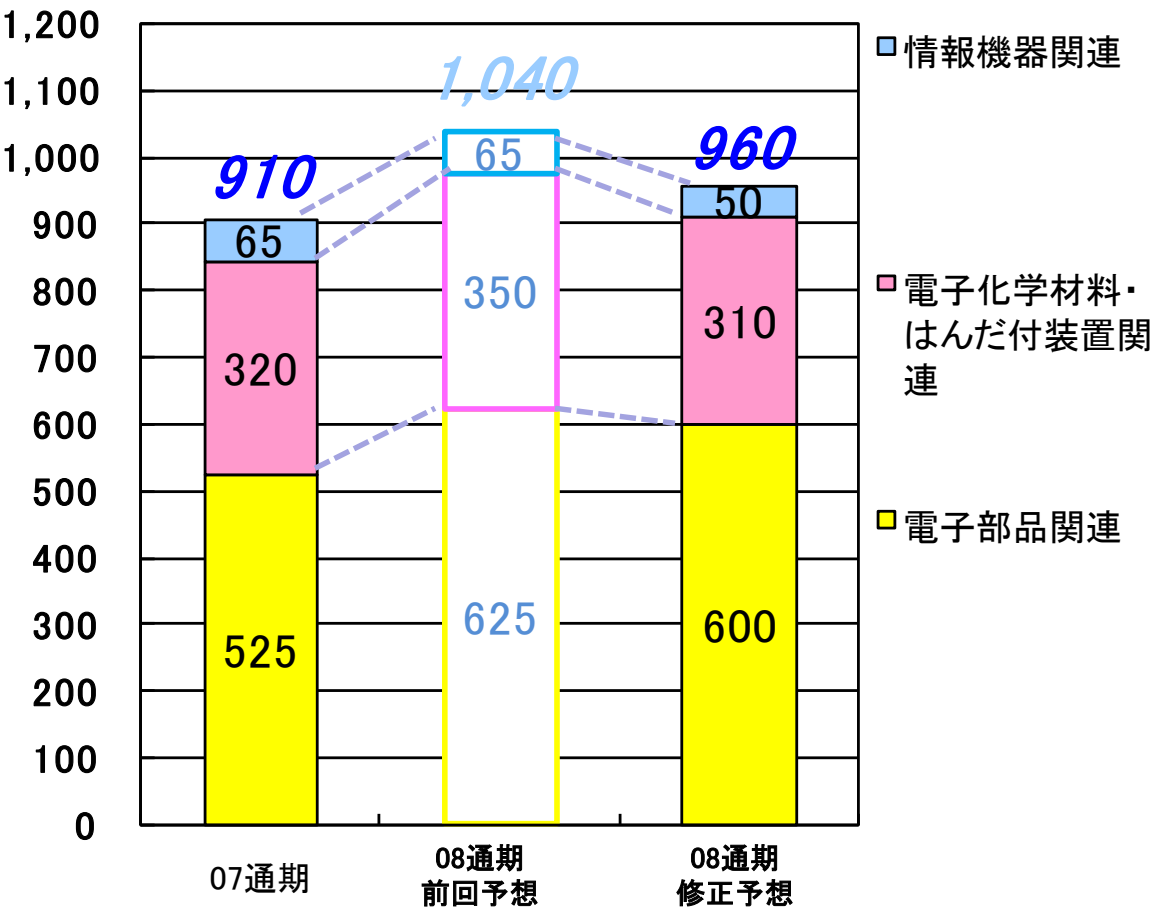
	08/3 実績	09/3 前回予想	09/3 修正予想
ROA	2.2%	0.9%	△0.8%
ROE	4.5%	1.8%	△1.7%

※前回予想は8/8公表値

下期も引き続き厳しい市場環境が続くと予想し、 通期予想を大幅に見直し

売上高

【億円】

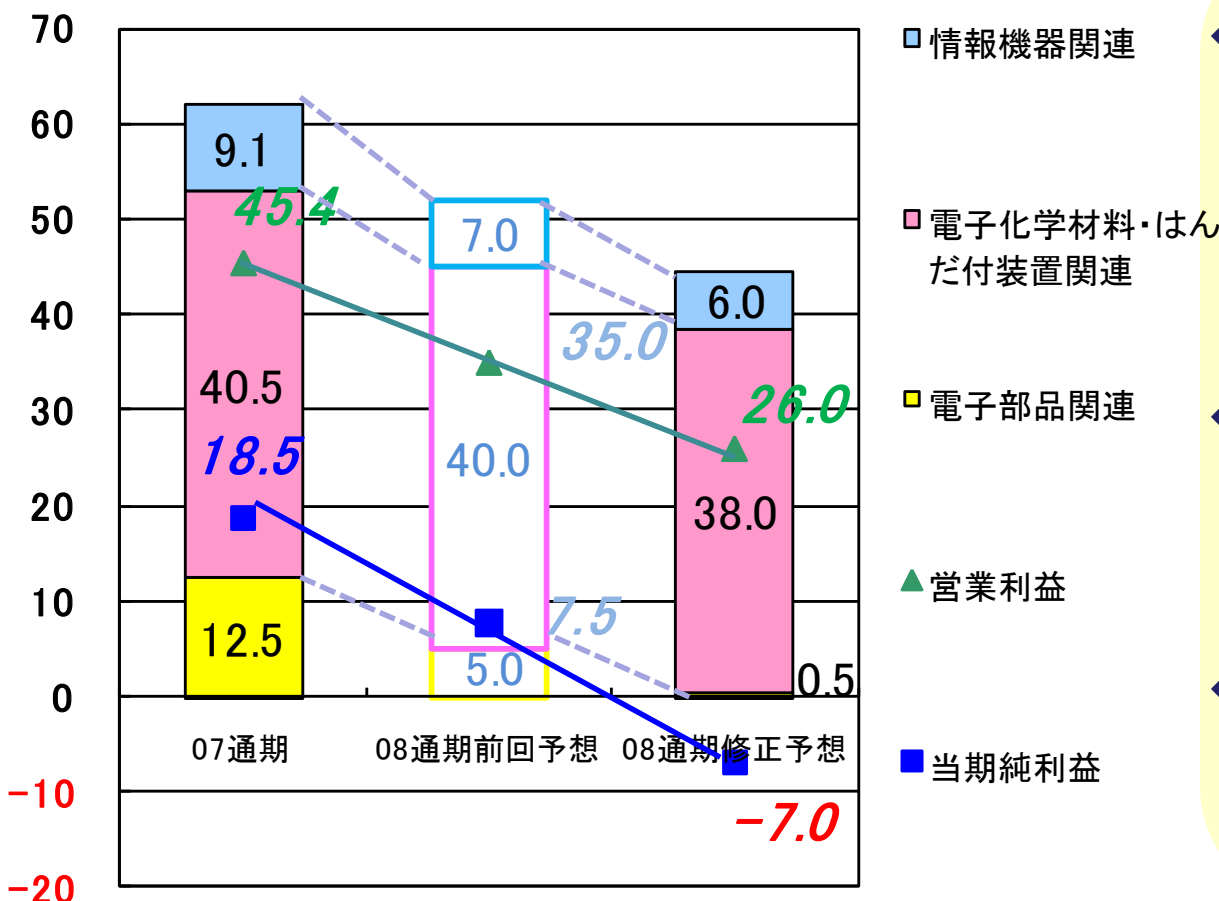


- ◆ **電子部品関連事業**
市場環境の低迷、設備投資の減速、競争の激化など厳しい環境は続くと予想し、売上高予想を減額
- ◆ **電子化学材料・はんだ付装置関連**
市場環境の低迷に伴う、設備投資の抑制、生産の減産を予想し減額
- ◆ **情報機器関連**
国内放送市場の低迷もあり、売上予想を減額

プライスアップや原価低減など下期での巻き返しを見込むも
 上期の結果や市場環境を踏まえ、予想を見直す

営業利益

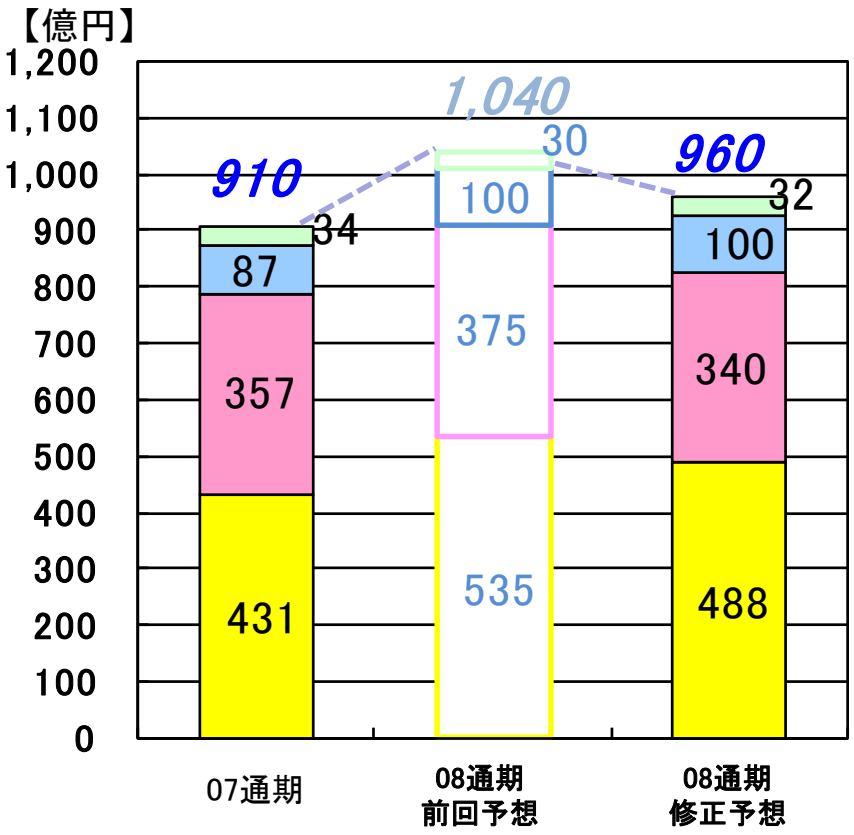
【億円】



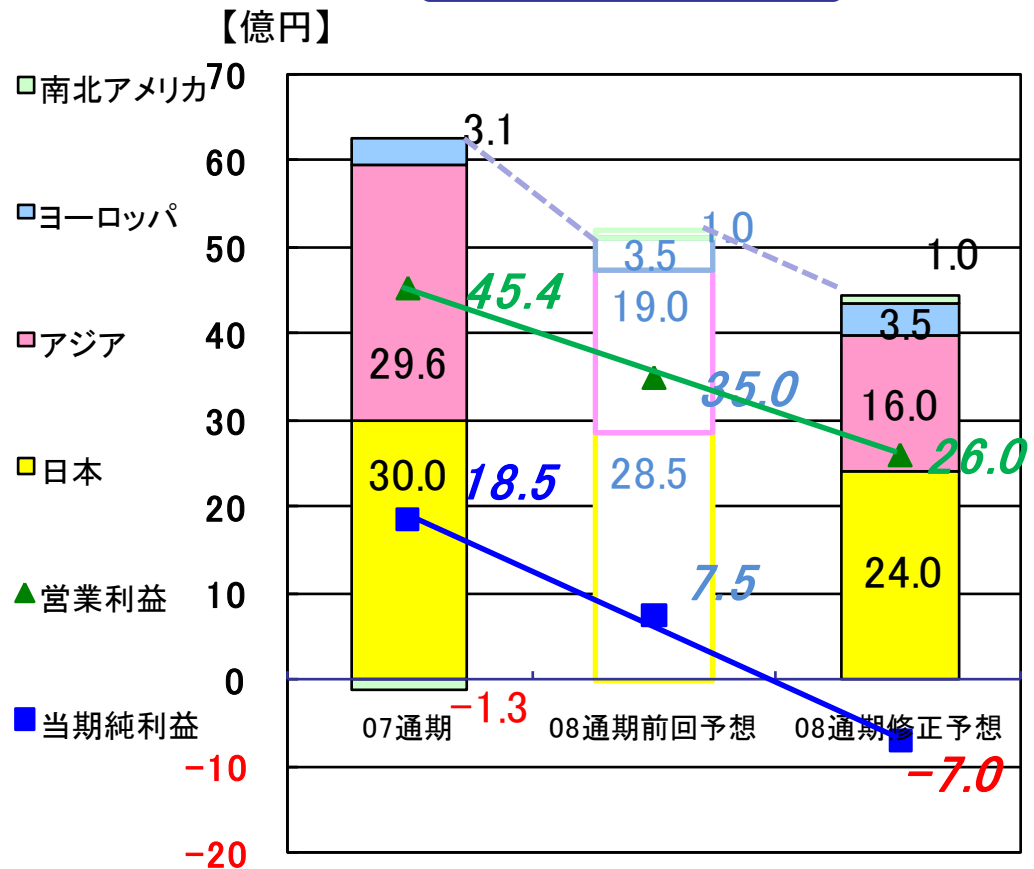
- ◆ 電子部品関連事業
 下期は原価の改善・プライスアップをはじめ、収益の改善に努め、黒字化を予想するも上期の赤字もあり、大幅に予想を減額
- ◆ 電子化学材料・はんだ付装置関連
 ERPの導入など原価管理の徹底による収益改善は見込むが売上減少により予想を減額
- ◆ 情報機器関連
 売上減少により予想を減額

世界的な景気の低迷が予想されるが、アジアを中心に収益の改善を図り、グローバルな経営体質強化を推進

売上高

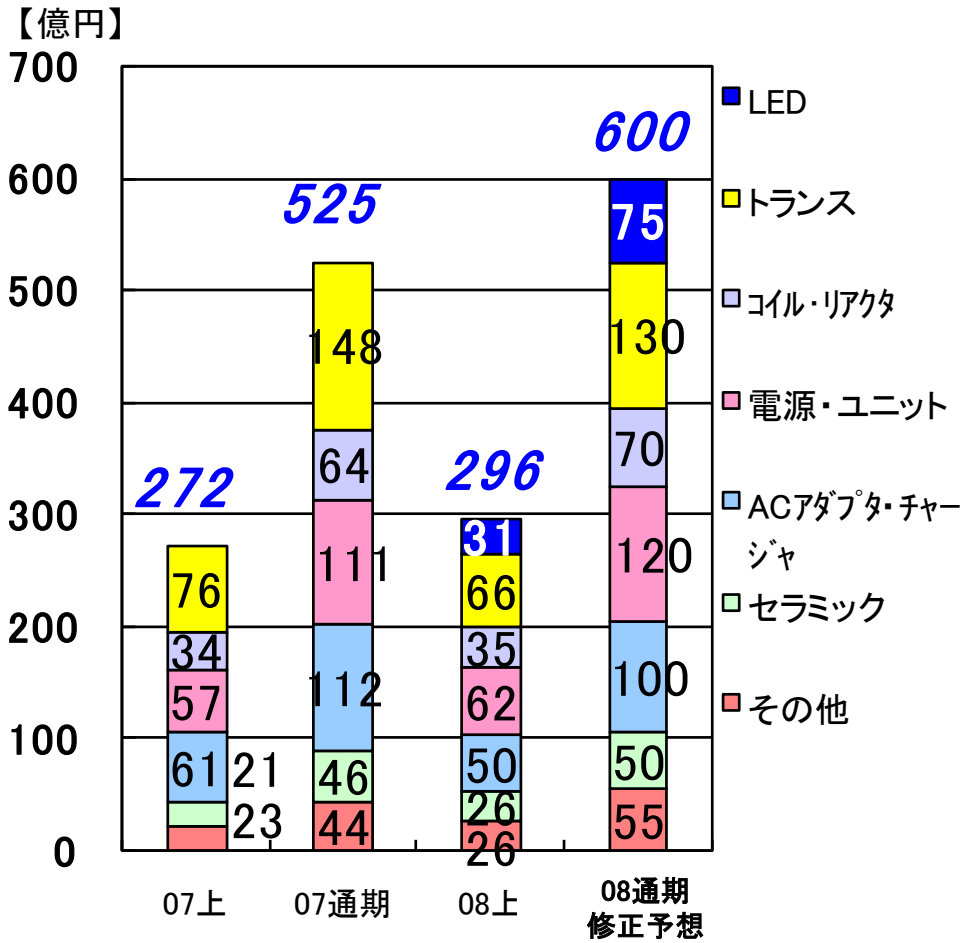


営業利益



戦略製品を中心に競争優位製品の強化・拡大による収益性の向上、商品の低価格化、原材料価格の急変など変化の激しい市場環境へのリスクマネジメント強化を推進

製品別 売上高



◆需要拡大受け
エアコン用アルミ線リアクタ大幅増産

- ・価格変動の激しい銅線を使用せず、金属素材価格を抑える
- ・従来にない軽さを実現

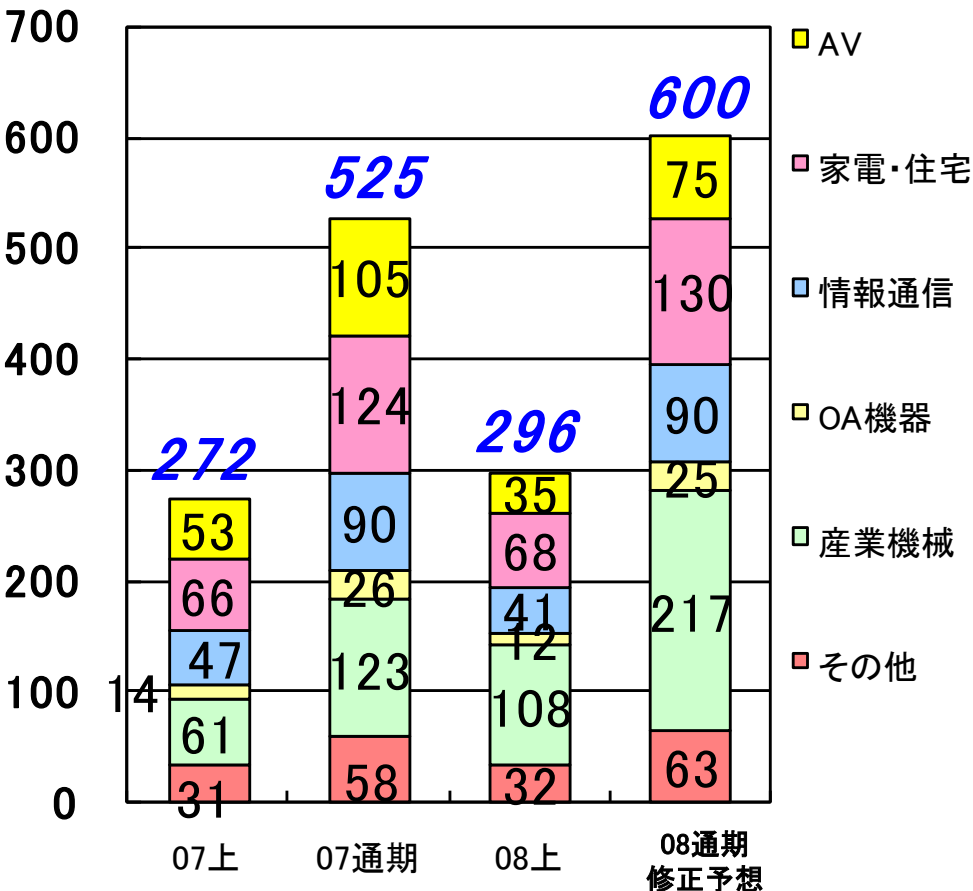


「エアコン用アルミ線リアクタ」

LED関連、車載関連、エネルギー関連等、新分野・好調市場に注力し、収益性アップ、下期巻き返しをはかる

【億円】

市場別 売上高



◆LED関連商品

光波との連携でグローバル展開

多彩な商品ラインナップで
市場のニーズに応える

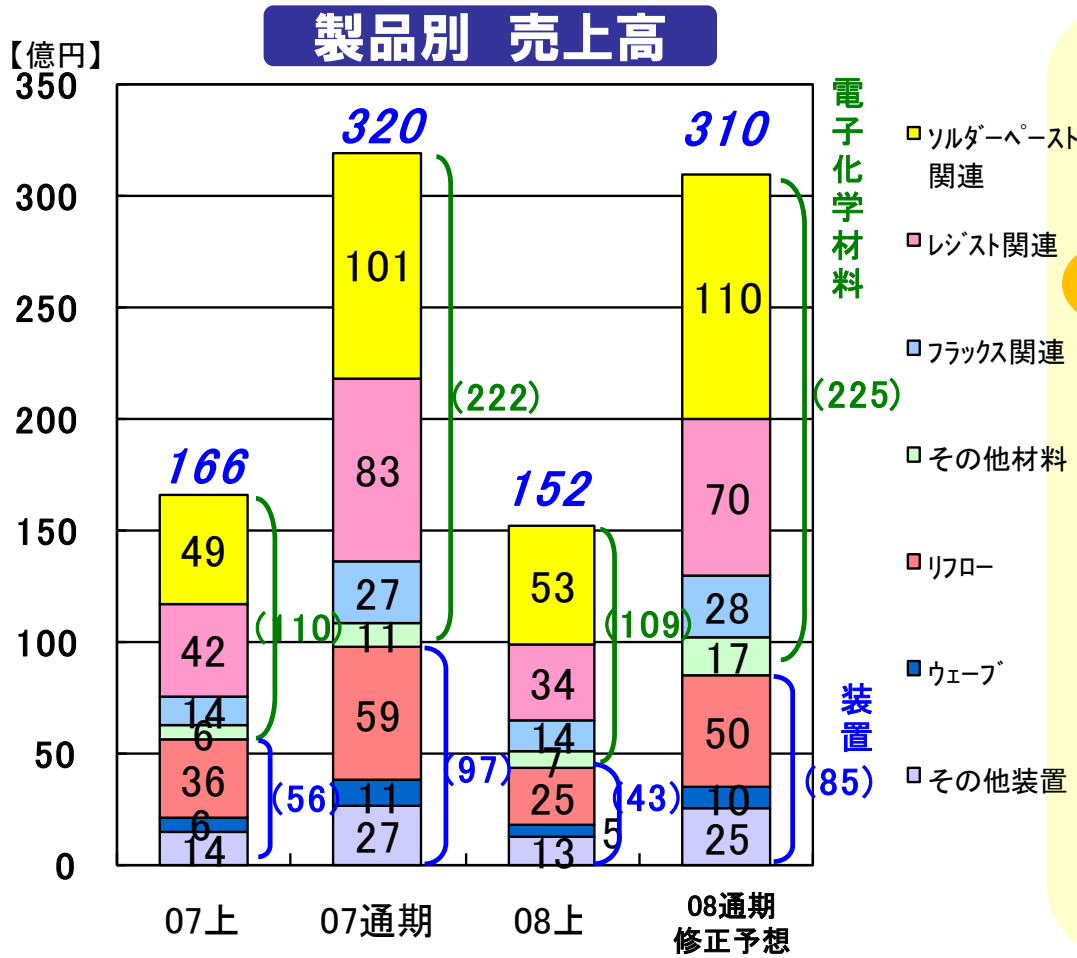


- ・環境対応
- ・省エネ
- ・長寿命



はんだ付装置：省エネ・低価格化・すぐれたコストパフォーマンスなど 機能の充実で更なる海外市場拡販を展開

電子化学材料：ERP導入による原価改善・収益性の向上



【はんだ付装置】

◆ 大気汚染物質を出さない
究極の環境対応リフロー

New

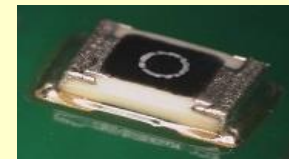
- 「はんだ付け用ダクトレスN2リフロー」
- ・省エネ（従来比2割削減）
 - ・ダクトなし
 - ・廃棄物質をほぼ無害化



【電子化学材料】

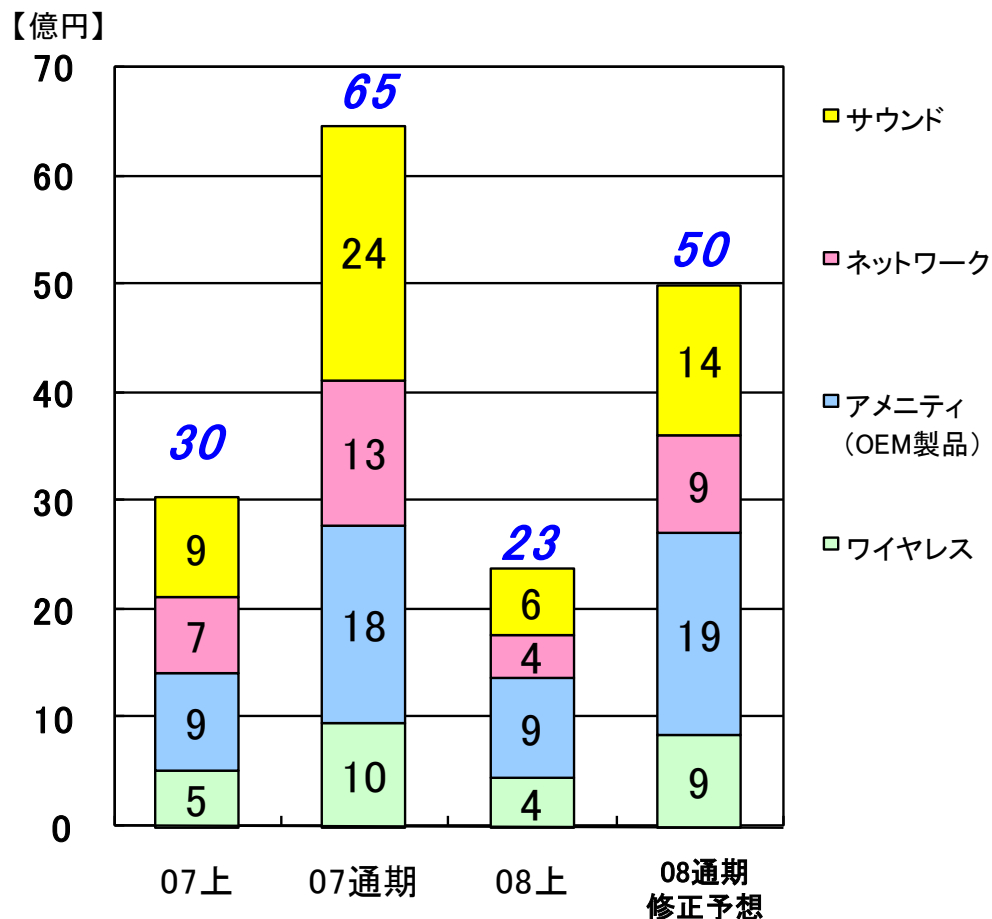
◆ 導電性接着剤等、新製品分野の拡販強化

熱硬化性はんだ導電性接着剤
SUPER ARZERITE TCAP-5401-25
はんだ溶融接続と樹脂接続が同時に可能



海外市場獲得に向けた製品展開・販売戦略を図る 更なる収益性向上へ向けた構造改革を積極的に推進

市場別 売上高



◆デジタルポータブルミキサーで
海外市場はじめ、新市場への
拡大狙う

New

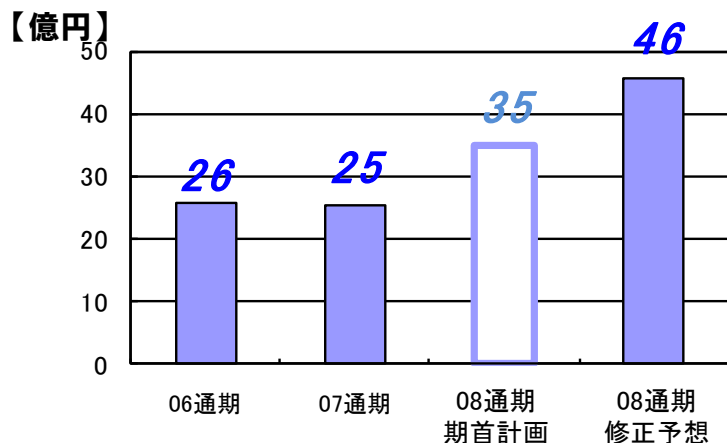


12チャンネルタイプ:AMX-12D

◆市場ニーズの高い
セキュリティ製品堅調

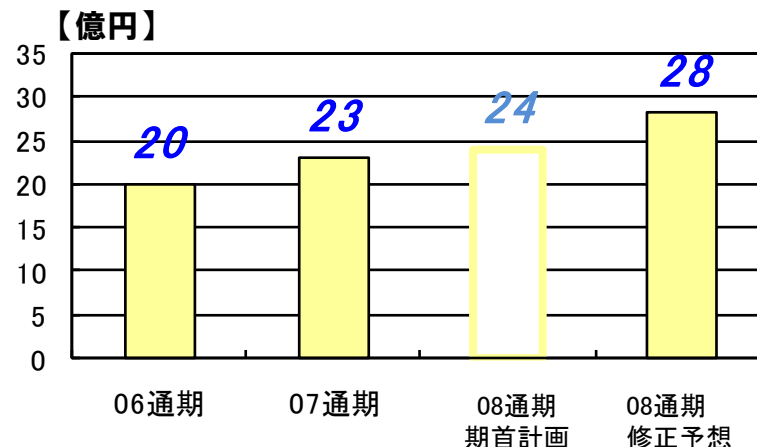
設備投資

管理強化に伴うERP拡大、国内子会社の移設、戦略事業への積極投資により計画を増額

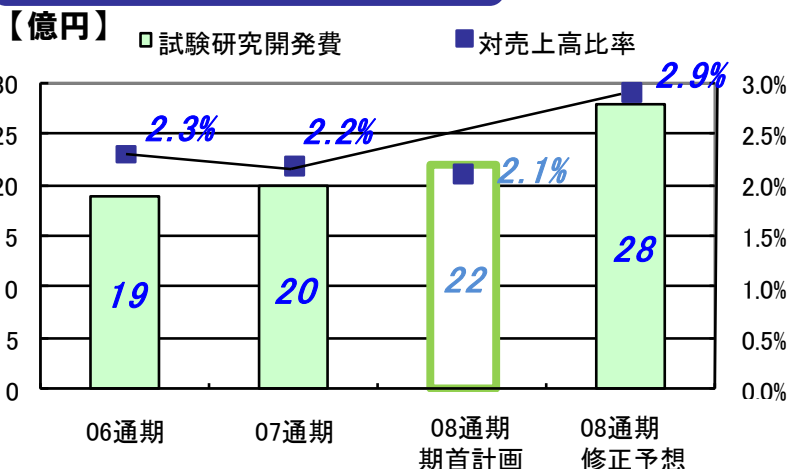


減価償却費

設備投資額の増額に伴い、償却予想も増額



研究開発関連費用



- ・戦略事業(セラミック・車載・半導体向け等)を中心に開発推進体制を強化
研究開発費用も増額
- ・LED関連事業については、タムラー光波での連携開発体制を築き、高輝度LED製品開発のスピードアップ化を推進
- ・はんだ材料をはじめ、各カテゴリにおける素材開発の強化を推進

弊社からのお願い

業績等の計画につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、実際の業績等は、市場の変化などにより計画と異なる結果になる可能性もあることをご承知おきください